

さみどり



にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより

令和7年度 第7号 (11/28発行)



校庭の木々は何とも美しい赤や黄色に色づき、寒空の下で元気よく遊びまわる子どもたちを温かく見守っています。今年は大きな粒の銀杏も例年以上にどっさり実りました。

○イベント盛りだくさんの日々○

◇おいしい牛乳が届けられるまで◇



10月末に3年生は毎日の給食でお世話になっている柳川乳業さんご協力のもと、社会科の校外学習に出かけました。創業100年という歴史ある会社の紹介や牛乳の製造工程などについてお話を聞いた後、様々な設備を見学。タンクの大きさや牛乳がパック詰めされている搬出ラインの規則正しい動きなどに驚きの声を上げ、工場の様子やそこで働く人々の思いに触れながら社会の仕組みについて学びました。質問コーナーでは「どうして牛乳を125℃で殺菌するのですか?」「この工場は建てるのにいくらかかりましたか?」「初代社長の名前は何ですか?」「本社はどこですか?」等々、次から次へと質問が止まりませんでした。

◇ようこそ「おもちゃ大会」へ!◇



11月5日、2年生は生活科で空き箱などを利用した「動くおもちゃ」を作り、「おもちゃ大会」を開いて1年生をご招待。「ここはこうやるんだよ」とやり方を説明したり、ゴールの判定をしたりする優しさいっぱいの2年生に、初めは緊張気味だった1年生もおもちゃ遊びに夢中になって会場の教室は大賑わいでした。

遊んだ後は紙パックで作った「パッキンジャンプ」のお土産をプレゼントするなど、なかなか素敵なアイデアも。「おもちゃで遊んでくれてありがとう。」「みんな楽しんでいたので嬉しかったです。」という2年生から1年生へのメッセージ。やり終えた!という明るい笑顔があちらこちらに見られました。

◇「オールフレンズ集会」◇



11月6日は運動会と同じ1年生から6年生のたてわり班で活動するオールフレンズ集会が行われました。これは異学年と交流してより良い人間関係を築くこと、互いを認め合い自分の役割を果たそうとする態度を育むことをねらいとしています。当日はたてわり班で一緒に給食を食べ、校内ウオークラリーで10ポイント(ボウリング・缶積み・けん玉・カードゲーム・ドミノ・bingo・風船バレー・的当て・キックターゲット・靴飛ばし)に挑戦しながら交流を深めました。6年生がリーダーとなって各班を引率し、各学年のメンバーもその場の雰囲気を盛り上げて楽しもうと皆で心を一つに和気あいあいと取り組んでいました。

◇ようこそ、一色小学校へ!◇

「ランドセル、持つてみる?」

「これは算数の教科書だよ。」

「トイレは大丈夫?」



オールフレンズ集会の翌日、1年生は近隣の幼稚園・保育園の年長

園児17名をご招待しました。園児は1年生手作りの名札を胸につけ、5年生に誘導されて体育館へ。「はじめの会」を和やかに終え、班ごとに図工室や図書室など校内を巡りました。運動会やオールフレンズ集会で6年生のリーダーが掲げていた旗を今回は1年生が持つて先頭を歩き、園児のお世話を微笑ましい姿。途中で「あれっ! 理科室はどこだ?」と迷子になる班もありましたが、何とか到着。教室でもランドセルを見せたり、教科書を広げて説明したりするなど皆‘先輩’としての役割を立派に果たしていました。

◇「芸術鑑賞教室」(PTA なかよし合同企画) ◇



11月12日、文化庁による文化芸術鑑賞・体験推進事業として誠翔会による大藏流狂言を全学年で鑑賞しました。演目は「附子(ぶす)」と「柿山伏」。そして最後の「くさびら」にはなんと4年生10名が担任と共にキノコとなって舞台に登場。ちよこちよこ歩いたり、ひょいと飛び跳ねたりと、キノコの笠をかぶってなかなかの名演技でした。

およそ600年前から伝承され、世界ユネスコ無形文化財でもある日本の伝統芸能「狂言」。ほとんど何も置かれていな舞台で難しい言い回しの台詞が飛び交う中、事前の大まかな説明を頼りに演者の一つひとつ身体の動きや表情などから児童は想像力をめいっぱい働かせて鑑賞していました。



上) 4年生は全員、事前のワークショップで「礼に始まり礼に終わる」といくつかの所作も学びました。
下) 公演前に特訓? を受ける10名のかわいいキノコたち。

◇昼休み「ミニ音楽会」◇



15分間という短い時間でしたが、音楽室は満員御礼。一曲終わるたびに拍手喝采。まさに‘芸術の秋’。

11月14日の昼休み、入りきれないほど多くの児童が音楽室に集まり、「第1回ミニ音楽会」を楽しみました。教員2名によるピアノとクラリネットで軽やかに演奏されたのは、皆が大好きなお馴染みのトトロの曲。

「次はギターで参加したいな。」と参加を希望する教員の輪も広がっています。楽しみです。乞うご期待！

◇盲導犬ユーザーに学ぶ◇



11月19日、4年生は総合的な学習の時間に盲導犬ユーザーである二宮町在住の板鳶さんをお招きし、視覚障がいや具体的な支援の方法について学びました。盲導犬テスの働きやスマートフォンの様々な機能に助けられていること、またヨットやゴルフなどのスポーツを楽しんでいることも紹介され、最後に「盲導犬」+「技術の進歩」+一番大切なのは‘人のつながり’です。」「人の優しさ」が困っていることを解決してくれます。と穏やかに語られました。

◇「ドッジボール大会」◇

運動委員会が中心となって、赤白のたてわり班対抗ドッジボール大会をロング昼休みに行いました。11月18日は低学年、20日は中学年、27日は高学年です。毎回、他学年がステージ上で応援し、どの学年も全力でボールを投げ、全力で逃げ回るなど体育館は熱気に包まれました。5・6年生の運動委員会の子どもたちが手際よく運営する姿にも感心、感心。

◇「一色 秋の本まつり」◇



図書委員の手作り‘ニヨッキの記念図書カード’。11月27日(木)までに64名の児童が交換しました。

11月は読書月間です。各自で11月限定のポイントカードにシール10枚(本10冊分)を集め、記念図書カードと交換できる仕組みで、なんと最終週(11月25日～28日)はポイント2倍。各学年の週間貸出目標冊数(一人あたり約2冊)も提示され、併せてクイズラリーも行われるなど、連日図書室は大賑わいでした。廊下では本を片手に歩く子を多く見かけ、教室では一人静かに読書する姿が以前よりも増えています。この‘本まつり’を機会に日頃の読書習慣が身につくことを期待しています。

○時を経て迎えた完成の日○

◇5年生のお米20銘柄◇



米袋を最後に結ぶ
作業も難しかった！

5月の田植えから10月の稲刈りを経て収穫した1.4kgのお米(+いただいたお米)をミニ米袋に入れ、5年生20名、それぞれがデザインした個性豊かな郷土愛溢れる‘米の銘柄シール’を貼り付けてようやく完成しました。一袋一袋、実に存在感があります。

◇6年生の梅干し「一色梅」も出来上がり！◇



6月に友情の山で収穫し、地域の梅干し名人のご指導を受けながら、7月末の天日干し後約3か月間漬けておいた梅干しが完成しました。時間をかけ、手間をかけて作ったものは味わい深いものがあります。